

事業概要：地域循環型白鷹ウェルネスツーリズム推進事業

継続

申請者	山形県白鷹町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	75,000千円 (20,000千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	本事業は、町内に点在する観光資源を「ウェルネスツーリズム」を軸に連携させ、通過型観光から滞在型観光への転換を図るものである。伝統文化、自然、温泉、食、アクティビティ等を組み合わせた体験型観光を創出し、交流人口・関係人口の拡大につなげる。また、観光資源の磨き上げや宿泊施設との連携を進め、地域全体で観光を推進する体制を構築する。これにより、観光消費額の拡大と、持続可能な観光地域づくりを目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 本事業では、町内の宿泊施設、体験施設、スポーツ施設、伝統工芸等の観光資源を調査・分析し、ウェルネスツーリズム構想を策定する。また、関係事業者等との合意形成を進め、体験型観光プログラムの構築や推進組織の設立を行う。さらに、モニターツアーやプロモーションを実施し、観光プログラムの試行・事業化を進める。あわせて、予約・移動・宿泊・購買データ等を活用できるデジタルプラットフォームを開発・導入し、周遊促進やリピーター確保に活用する。					●町内の市場調査、分析 ●資源の洗い出し・磨き上げ ●ウェルネスツーリズム構想の策定 ↓ ●推進組織の立上げ ●ステークホルダーとの合意形成 ●プラットフォーム開発 ●体験型プログラムの造成 ↓ ●滞在型観光の確立！ ●観光事業の持続性（稼ぐ力）UP！ ●観光事業の組織力UP！！	
	【R8年度事業 経費内訳】 ①推進組織の設立 1,000千円（委託料） ②ステークホルダーとの合意形成 2,000千円（委託料） ③プラットフォームの開発・導入準備 15,000千円（委託料） ④体験型観光プログラムの試行 2,000千円（委託料） 1年目の調査や分析結果を基に地域資源をウェルネスツーリズムに資するコンテンツへの磨き上げを行う。構想の推進組織を設立しながらステークホルダーとの合意形成を行い、プラットフォームの開発及び地域における滞在型観光のプログラム造成へ着手する。					  	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①町内観光消費額（+151.5百万円） ②観光客数（+230千人） ③本事業で実施するプラットフォームの登録者数（+1,100人） ④本事業で実施する観光コンテンツ数（+27件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.shirataka.lg.jp/2277.htm

事業概要：女性・子育て世代・若者に選ばれる「暮らし」と「しごと」ブランディング事業

継続

申請者	山形県白鷹町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	315,716千円 (20,000千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	本事業は、若者・女性・子育て世代に選ばれる暮らしと働く環境を整え、転入促進と転出抑制を図るものである。子育て施策や暮らしやすさをブランディングし、町の強みを効果的に発信することで、移住・定住の促進につなげる。また、町内企業の働きやすい職場づくりを支援し、人材確保と若者の地域定着を後押しする。さらに、住宅整備により住まいの不足を補い、職住育が近接した生活環境を形成することで、持続可能な人口確保を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 本事業では、転入者等への調査・分析を通じて、白鷹町の子育て環境や暮らしやすさの強みを整理し、PR媒体を作成・発信する。また、企業向け調査やセミナー、モデル企業へのコンサル支援を行い、女性等に選ばれる職場づくりを促進する。さらに、企業の取組を横展開するための助成制度や情報発信体制を構築し、町内企業の人材確保を支援する。あわせて、子育て支援住宅、若者定住促進住宅、若者移住促進住宅を新築整備し、若者・子育て世代の住まいを確保する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・女性等に対する町の子育て施策のブランディング 子育て世代、女性目線での暮らしやすさのブランディング構築 6,000千円（委託料） ・女性等に選ばれる職場の実現 企業イメージアップに向けたモデルの形成 14,000千円（委託料） 1年目に整理した素材を組み合わせることにより、本町の子育て世帯向けのブランディングを構築する。イメージアップに前向きに取り組む企業を伴走支援し、子育て世代や若者の働きやすい企業のモデルをつくる。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①本町の人口数（社会減数の抑制）（+4人） ②0～4歳の転入者数（+10人） ③20～24歳の転出者減少数（+11人） ④本事業によりイメージアップに取り組む企業数（+5社） ⑤本事業で整備する移住促進住宅への入居者数（+8人） ⑥本事業で整備する住宅入居者の満足度（+80%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.shirataka.lg.jp/1370.htm

事業概要：～新たな人の流れで町を活性化～ 多様な人材還流促進事業

継続

申請者	山形県白鷹町					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	43,500千円 (10,000千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	本事業は、都市部や町出身者、外国人材等を含む地域外人材とのつながりを強化し、関係人口の拡大と地域の担い手確保を図るものである。情報発信や交流機会を充実させることで、白鷹町に継続的に関わる人材を増やし、地域課題解決や地域活動への参画につなげる。また、移住相談体制や移住体験を強化し、UIターンや移住希望者が具体的な暮らしをイメージできる環境を整える。さらに、外国人材が地域で安心して暮らし、地域コミュニティに関われる受入体制を構築し、人口減少下でも持続可能な地域づくりを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業では、町出身者や関係人口候補者に向けた情報発信体制を再構築し、関係人口のデータベース化や登録Webツールの構築を行う。また、東京・仙台等の都市部で若者、大学生、町出身者との交流イベントを開催し、町との継続的な関係づくりを進める。さらに、移住情報を一元管理するWebサイトやPR素材を整備し、お試し移住体験ツアーや仕事体験の機会を提供する。加えて、外国人材の受入に向けた調査、生活支援体制の構築、地域活動へ参加できる仕組みづくりを実施する。					➤ 人口減少による人材不足・地域づくりの担い手不足に対応するため、移住・定住につながる関係人口構築を推進 ➤ 今後、地域産業の担い手として期待される外国人材の受入体制整備 事業推進体制 移住推進協議会 しらたかマルチワーク事業協同組合 ← 人材確保 事業内容 関係人口WEBツール構築 (情報発信基盤整備) 都市部での交流会 (若者首都圏同窓会開催) 移住支援のスマホ化 (広告媒体の整理・新規作成) 外国人材受入体制構築 情報発信 登録・参加 主なターゲット層 町外に住む出身者 ふるさと納税者 田舎暮らし関心層 都市部の大学生 外国人材	
	※経費内訳はR8年度事業費						
事業概要・ 主な経費	【R8年度事業 経費内訳】 ・情報発信基盤整備と都市部等の関係人口が町に関わり続ける仕組み構築（委託料）5,000千円 ・移住支援のワンストップ窓口（一元管理）化と移住体験の充実（委託料）3,000千円 ・外国人材の受入体制整備（委託料）2,000千円 1年目の現状分析・データ分析等の整理によって2年目で構築された仕組みを実際に実走し、持続する体制を構築する。						
主なKPI	①地域へのUIターン数（+15人） ②本事業で実施する関係人口登録者数（+60人） ③本事業で実施する移住体験者数（+8人） ④町内に住民票を有する外国人数（+10人） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL	https://www.town.shirataka.lg.jp/1370.htm
					※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL		

事業概要：『食と農村交流広場』と連携した女性・若者が創り出す農作物等高付加価値化事業

継続

申請者	山形県白鷹町					初回採択回	令和7年第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	843,827千円 (0千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	6次産業化加工施設を整備することにより、6次産業化への展開やその過程での各産業間の連携や交流を図り、農業従事者の農業所得の向上や新たな特産品開発、通年での仕事の創出を目指す。 - 新たな付加価値創出へ挑戦する機会をつくることで、本町の資源を活用した6次加工品を開発し、域内の経済循環はもとより、将来的には国外を視野に入れた域外への市場開拓に向けた取組を目指す。 - 取り組む女性や若者が地域を盛り上げ、定住や交流人口の増大など楽しい地方の姿の具現化を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 町の主要観光スポットとなっている直売所、『食と農村交流広場』の隣接地に、加工・販売・交流の機能を有する複合的な加工施設を整備し、直売所の一次産品を活用した加工品を制作することで、高付加価値化を図る。 加えて、本町で実施している観光客数調査によれば『食と農村交流広場』は、町内の観光施設では1番の来客者数を誇る。その隣接地に、加工・販売・交流の施設を整備することで、『食と農村交流広場』と連携した商品開発、販売により、稼ぐ力を創出し農業者の所得向上を図る。また、本施設で域内外の人との交流を促し賑わいを創出し、新たな人の流れの形成にも寄与するもの。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業（事業はR9年度から開始） ・6次産品のマーケティング調査 ・6次産業商品開発セミナー ・6次産業化チャレンジ支援事業補助金創出 ・アドバイザー（仮）ブランディングコーディネーター）設置 ・ECサイト構築 ○拠点整備事業（事業はR9年度から開始） ・白鷹町6次産業化推進拠点施設の整備						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①農業従事者の所得向上（+40万円）②新規農業従事者数（+7人） ③施設使用率（+45%）④新商品の開発数（+2件） ⑤新たな販路の開拓数（+2件）⑥本施設での雇用者数（+2人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.shirataka.lg.jp/1370.htm

事業概要：子育て支援・健康応援推進事業

継続

申請者	山形県白鷹町					初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	33,500千円 (10,000千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	本事業は、全世代の健康づくりと子育て支援を一体的に進め、生涯にわたり地域で活躍できる環境を整えるものである。健康データやSNS等のデジタル技術を活用し、生活習慣改善、フレイル予防、外出・社会参加の促進につなげる。また、子育て支援アプリの機能拡張やオンライン相談により、子育て世代の不安や孤立感の軽減を図る。これにより、町民のウェルビーイング向上と地域コミュニティの活性化を促し、人口減少の抑制に資するまちづくりを目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 本事業は、人口減少や担い手不足に対応するため、デジタル技術を活用した「生涯活躍のまち」の実現を目指すものである。子育て支援アプリの機能拡張やオンライン相談体制を構築し、子育て世代の利便性向上と孤立感の軽減を図る。また、健康データを活用した健康づくり支援システムを導入し、健康教室や生活習慣改善、フレイル予防を推進する。加えて、ボランティア活動や町イベントと連動したインセンティブ付与により、交流・社会参加を促進する。さらに、全天候型多目的運動ホール等を整備し、全世代が健康で生きがいを持って暮らせる地域づくりを推進する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・自身の健康データ利活用デジタルツール構築 2,000千円（委託料） ・町立病院と連携した人間ドック受診から生活習慣改善トータルサポートプログラム構築 2,000千円（委託料） ・SNSでの精密検査受診勧奨、生活習慣改善指導フォローアップの仕組み構築 2,000千円（委託料） ・自助意識の醸成・活躍するボランティア・高齢者等の支援の仕組み構築 2,000千円（委託料） ・健康データを活用したPDCAサイクル確立 2,000千円（委託料）						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口数（▲1,252人） ②この町でこどもを産み育てていきたいと思う人の割合（+12%） ③要介護認定率（▲0.5%） ④運動習慣者の増加率（+5.5%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.shirataka.lg.jp/1370.htm

事業概要：日本の紅（あか）をつくる町連携推進事業

継続

申請者	山形県白鷹町					初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	30,165千円 (6,300千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	本事業は、「日本の紅（あか）をつくる町」として受け継がれてきた紅花文化を次世代へ継承し、地域資源を活かした持続可能な地域づくりを推進するものである。紅花生産者や加工人材の確保・育成を進めることで、生産基盤の維持と地域文化の継承を図る。また、紅花を核とした町民参加型の取組や情報発信を強化し、地域への誇りや愛着の醸成につなげる。さらに、紅花を通じた交流人口の拡大により、地域全体の活力向上を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 紅花生産者への支援や、有識者による栽培・加工技術講習会を実施し、後継者の確保と技術継承を図る。加えて、連作障害対策に向けた調査・研究を行い、安定的な紅花生産体制を構築する。また、「SHIRATAKARED」等の紅花関連商品の開発・販売促進を進めるとともに、イベントやPR活動を通じてブランド力向上を図る。これらの取組を一体的に展開することで、紅花を軸とした産業・観光振興を推進する。					実施体制等 白鷹町 ↓委託料↓ 日本の紅をつくる町連携推進本部 商工会・観光協会等から構成する推進主体 ↓補助金↓ 紅花生産者等	
	【R8年度事業 経費内訳】 ● 紅花の生産、一次加工に係る後継者の確保及び育成 ・ 紅花栽培の技術に関する課題検討・調査・研究及び対策費（委託料） 500千円 ・ 紅花栽培及び一次加工品生産に係る支援（委託料、補助金） 5,000千円 ● 紅花関連商品の開発促進 ・ 商品開発支援に係る費用 300千円 ● 日本の紅（あか）をつくる町、SHIRATAKAREDブランディング強化 500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①紅花一次加工品の生産量（+8.3kg） ②紅花関連商品の売上金額（+250,000円） ③紅花関連イベント参加者数（+400人） ④修景用紅花栽培面積（+15a）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.shirataka.lg.jp/1370.htm